沢登り　祝子川本流～ゴルジュ泳ぎ～

【報　告　者】望月
【日　　時】2005 年 7 月 23 日　　【天　候】晴れ
【参　加　者】一木、高橋、金崎、杉田、望月

≪コースタイム≫

8:00 大崩山登山口―（登山道）―9:00 入渓（900m付近）―10:00 ゴルジュ帯突入―13:00 最後の核心を突破（1000m 付近）―13:30 三里河原入口（遡行終了）―14:00 下山開始―15:00 大崩山登山口到着

≪　報　　告　≫

夏のみちのくに向けたトレーニングもいよいよ大詰め、最後に残った課題はずばり「泳ぎ」ということで、トレーニングの締めの沢として、祝子川ゴルジュへ行ってきました。厳しい登攀が連続しますが、こういうところを突破できると、沢って楽しいですよ～。今回はカラ梅雨のおかげか、例年より水量が少なく、最大の核心の 30cm ゴルジュも直登でき、一箇所高巻きした以外はゴルジュをきっちり突破してきました。

入渓したあたりは一面巨石帯。しばらく石を越えると、大きな釜と上に木が生えている巨石。ここからゴルジュがいよいよ始まります。淵泳ぎ滝を越え、登れば又淵。この辺から結構泳ぎまくりです。ウェットスーツを着てないと、意外に水は冷たいので、天気が悪いときは体が冷えそう。しばらくはナメ。登っていくと、側壁が威圧感を感じさせるほど高くそびえだし、目の前には大釜出現。奥には大きな滝があり、滝つぼの横に数本ボルトが打ってある。ここは、いければ滝登攀にチャレンジのつもりで、まず自分がザイルを結んで滝つぼへ泳ぐが、途中のボルトはリングがなくなっており、ちょっと登れなそう。結局諦め、少し戻って高巻きで突破。この後も泳ぎと登攀が連続し、谷はいよいよ幅を

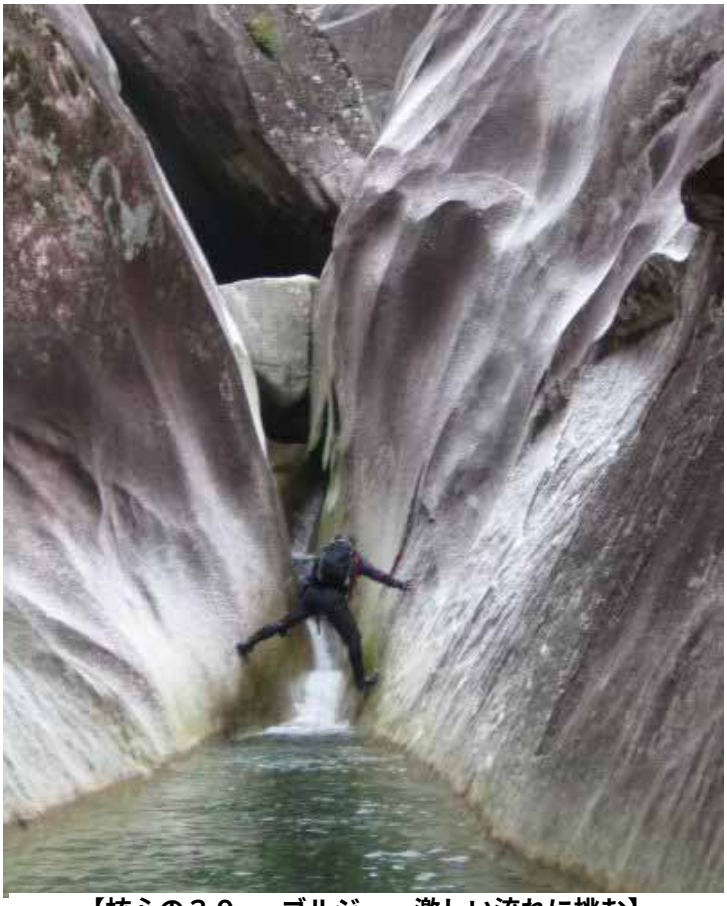
【果敢にアタックしたもっちーをねぎらう面々】

狭めていよいよ核心の 30cm ゴルジュへ。ここは杉田君がきっちりリードで抜け、中間エイトで全員突破。その後の巨石帯の突破もかなり厳しく、途中キャメロットの 3 番、0.5 番を使ってリードするところもありましたが、頑張って抜け、最後は谷間に挟まる巨石の上まで登り、太陽の下ようやくレスト。気の抜けない時間帯が、ようやく終わりました。

　この後は、沢の雰囲気が一変します。沢が開け、流れも緩くなり、多少釜を泳ぐ程度で三里河原の入口へ到着。ここは平和そのものといった雰囲気の川原で、淵にはたくさんヤマメが泳いでいました。遡行の無事終了を祝い、1 本の缶チューハイを皆で回し飲み、これが美味かった～

下山は沢に沿った登山道を下るのみで、1 時間程度でスタート地点へ到着します。

今回で、計 5 回のみちのくのトレーニングも全て完了、後は本番を待つのみです。
不安もありますが、どんな沢が待っているのか、とても楽しみです。



【核心の３０cm ゴルジュ。激しい流れに挑む】